



京都部部報

BULLETIN



第3号／2015.6 発行

京都部部長主題 「行雲流水」～ Be Y's men ～

西日本区理事主題 "To walk together, echoing each other" “響き合い、ともに歩む”

国際会長主題 "Talk Less, Do More" “言葉より行動を”

アジアエリア会長主題 "Start Future Now" “未来を始めよう、今すぐに”

京都部部長：畑本 誠（京都トウビー）

西日本区理事：松本武彦（大阪西）

国際会長：Isaac Palathinkal（インド）

アジア会長：岡野泰和（大阪土佐堀）

「一年を振り返り～感謝の言葉を贈ります～」

第19代京都部部長 畑本 誠
（京都トウビーワイズメンズクラブ）

平成25年秋、2回救急車で搬送され2回目に搬送された第二日赤で検査して頂いた結果「水頭症」を患っていることが判りました。緊急入院と水頭症治療の為に2回入院をしました。

私の脳内には約40mlの水が溜まっておりましたが、幸い水頭症の初期段階で治療をした為、進行を食い止めることが出来たようです。

しかし、正直なところ部長職が務まるか、途中でリタイヤするなら今のうち（早め）に辞退した方がいいのでは、様々な思いが去来致しましたが、お受けした以上は職責を果たしたい、その思いの方が日増しに強くなり辞退せずに今日まで至り京都部長を務めることができました。

こんな状態の私でしたが、京都部長を務めさせて頂きまして本当にありがとうございます。また、私を支えて頂いたキャビネットの皆様、役員の皆様の熱き友情に心から感謝申し上げます。そして何よりも各クラブの皆様には寛容なお心で接して頂きましたことに嬉しく思います。ありがとうございます。

ところで、昨今、国際的奉仕団体の殆どが会員数減少や高齢化に頭を悩ませておられるのが現状だと思います。しかし、この京都部に関しては例外です。常に500名弱のメンバー数を有している一大勢力を維持出来ているのは、各クラブが競争ではなく互いに刺激と発奮を意識し切磋琢磨している努力の表れではないでしょうか。各クラブの様々なご努力に敬意を表します。これからも 西日本区のみならず日本のワイズメンズクラブの牽引役を担える京都部であり続けていけることを望みます。

最後になりますがワイズメンズクラブはYMCAと、これまでも・これからも共に歩む団体です。その歴史と未来は不変です。京都YMCA125周年記念事業として、YMCA三条本館の改修を予定されています。耐震強化、エレベーターの取替え、エントランスの整備、リトリートセンターアプローチの架橋整備等、子どもたちが安心して利用出来るようにする、施設の改修工事の費用は募金で賄われます。目標達成まであと一歩です。募金期間は9月末まで延長されています。今一度ご協力賜りますようお願い申し上げます。

京都YMCA125周年の記念すべき年に部長を拝命出来たことは大変光栄なことでした。至らぬところが多々あったと存じますが、ワイズメンの寛容の精神でお許し頂けることを願い、京都部長最後のご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。




次期部長 高田敏尚 京都ワイズメンズクラブ

最近あった2つのことです。

ネパール大地震の支援募金に参加しました。日本でも噴火や地震が続いていますし、地下は何か変ですね。募金に集まったのはワイズメンズクラブを中心におとなばかりです。いつもの子どもたちはいません。かなり心細くなりました。ほんとうに募金が集まるだろうかと。私が行ったのは四条河原町。すでに、同じ趣旨の募金を大学生もしていました。それでも、声を出して呼びかけると、協力してくれる人も多いのです。さっとお札を入れ

てくれる人も少なからずいました。3ヶ所でおおよそ13万円の募金が集まりました。やっぱりYMCA！それだけ市民の人たちから信頼を得られていると実感しました。

もう1つは、かもがわチャリティーランでの出来事。抽選会で司会のリーダーが東山荘を「ひがしさんそう」と読みました。えっ「とうざんそう」なのに。でも、ひがしさんそうの方が普通の読み方ですね。ふだん、何気なく言うてゐること、やってゐることがYMCAでしか通用しないことになっていないか。信頼とその一方での慣れ、そんなことを考えさせられ、次期への教訓にしていきたいです。


直前部長 桂 厚子 京都ウエストワイズメンズクラブ

19期京都部も終盤となりました。畑本部長はじめキャビネットの皆様、事業主査、会長の皆様には1年間本当に有難うございました。そしてお疲れ様でした。畑本部長は、禅語を用いられた「行雲流水」と標語を決められ、常に心はその一処に執着せず、無心になって、と書いておられました。ある意味自然体で臨まれたのかなと思いました。

が、精力的に当初から三条YMCA125周年事業に力を注がれ、募金運動を展開されてきました。同志社寒梅館では、多くの人々を集め成功裡に終えられました。次期部長からの役員として勤められ激務から、お怪我があったり体調崩されたりで本当に大変であったと思います。

まだあと役員として様々ご指導いただきます。今期の京都部のメンバー数も500名超えに喜んでいきます。今期部の役員として関わらせていただき、今までもこれからも、ワイズの素晴らしさを味わせていただき感謝です。


監事 船本順司 京都トップスワイズメンズクラブ

2014年度京都部皆運営を皆様の支えにより無事終える事が出来た事を心より感謝申し上げます。そして、畑本部長はじめキャビネット役員の皆様、京都部に於いて惜しみないリーダーシップを発揮頂きました事に敬意と感謝を申し上げます。

出来たように思います。次期部長期は目まぐるしい一年、部長期は突っ走った一年、直前部長期は冷静に見分出来た一年、監事期は今までの経験を皆様にお伝えした一年、それぞれの一年には明確な意味がありました。長い4年間だと思った時期もありましたが、たった4年間でこんなに多くの経験をさせて頂けたと今は実感致しております。

この様な機会を与えてくれた自クラブ、そして、この4年間支えて下さったワイズメン、YMCAの皆様は心より感謝いたします。そして、今後もこの経験を多くの人に伝えて行く事が私の役割であり使命と捉えワイズダム発展に尽力して行きたいと思っています。皆様ありがとうございました。Y'sly

さて、私は京都部監事としてのこの一年、そして部役員として通算4年、最後の年と成りました。4年間京都部役員として部の運営に携わる事ができ、多くの得を得たように思います。多くの人に出会い、様々な場面を経験いたしました。大げさかもしれませんが、今後の人生に大きな幅が


京都部書記 古田裕和

京都部書記としてこの1年間、部の仕事の一端をさせていただきました。この間京都部各部会長の皆様、部役員の皆様、そして各クラブメンバーの皆様には大変お世話になりました。1年間を振り返ると準備から前半にかけては特

うともうこの原稿を書いている期の終盤になってしまいました。しかし、1年間貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。こんなことを書くにつらいことばかりのような感じが、いえいえ1年間十分に楽しませていただきました。やはりこういう役をさせていただくと人との関わりがぐっと広がっていきます。これほど人生で楽しい、面白いことはないのではないのでしょうか。

このかわりを今後もっといい方に向けて、またこれからの人たちにも面白さを伝えていければと思います。1年間本当にありがとうございました。

にいろいろ至らないところが多く皆様からのご指摘も受けながら勉強させていただいたという感です。後半になってようやく何とか仕事がこなせるようになってきたかなと思



京都部会計 小幡 弘

「一年を振り返り…やっぱり楽しかった～！！！」

今から一年前、京都部のキャビネットという重圧があり、あれもこれもしなければ！と分からないなりに焦りもありましたね。そして歴代の京都部資料を拝見した時、膨大な資料の量に驚かされました。実際携っていく内に資料の山が出来てしまい納得です！

とは言え御陰様でクラブ内のメンバーとしての立ち位置とはひと味違った一年を過ごす事が出来ました。新たな人との出会いと関わりという貴重な体験。沢山の在京ワイズメンバーとの交流。特に京都部役員さんと深く関わる時間

を持てた事は部のキャビネットをしていなければ無かったのかもしれませんが。役員会後の飲み会がその最たる物かも。クラブの垣根を越えたワイズ談義有り、ビジネス談義有り、馬鹿げた浮世話（失礼）も含めて時の経つのも忘れ、気が付けば朝やん？という事件も有ったような…

特筆すべきは第19期役員会メンバーで結成したバンドの練習。素人バンドとは言え、月に一回のスタジオ練習があるんですよ！まだまだ門外不出というレベルですが、練習回数を増やし全員がスキルアップすれば素敵なバンドが出来上がる事は間違い無し。

乞う御期待！！



京都部事務局長 伊藤 剛

準備期間も含めると約1年半の間、京都部の事務局長を務めさせていただきました。事務局長という役職を通じて、多くの事に関わり、多くの事を学ばせて頂きました。そしてまた多くのワイズメンとの新しい出会い、新しい発見もありました。

こういった「人」との関わりから始まる様々な広がりワイズメンズクラブの一番の魅力だと感じています。今期学んだことを、仕事にそして私生活に大いに活かし、ワイズメンズクラブの更なる発展に少しでも貢献できればと思います。

一年間、ご協力頂きまして本当に有難うございました。



事業主査

今期を振り返る



YMCAサービス・ユース事業主査 中西康晴

主題「YMCAと、歩調を合して ～ユース事業の支援～」

「YMCAサービス ユース事業主査を今期を振り返って」

京都部Yサ・ユース事業主査をお受けしてお蔭で1年が済みました。

YMCAとの良きパートナーシップの構築のため、またワイズメンズクラブの一層の発展のため、若者のパワーやエネルギーを取り入れていくことが必要と考えます。次期7/31にアジア大会が京都で開催され、パレスクラブを中心に大会の成功のため活動されておられます。

ワイズメンと若いリーダーが共に語り合い、お互いを知る絶好の機会であると考えています。

京都部のYサ事業が40程あり無事に終わりました。

京都YMCA創立125周年記念でもありさまざまな事業がありました。創立125周年記念式典が2/11に同志社大学で行われ舞鶴専門学校が開校され舞鶴で新しいワイズメンズクラブが出来る為の準備中です。1年間の主査活動にご協力頂きまして有難う御座いました。



地域奉仕・環境事業主査 田中光一

畑本部長の誕生に、CS主査を引き受けた。ワイズの活動はクラブが基本、その意思に基づいて自主的になされるべきで、かつ、それで十分だと考えている。

にもかかわらず、部のワイズデーをCSでとのお達しが。今期は、区のメネット事業が希少難病の患者さんたちを支援する組織の応援だという。そのお手伝いになることならとその気になった。TOBE、ZEROに手を上げていただいた。後ひと月というところでひどい新聞記事がでた。

結果として裏付けも検証もされない記事だった。その時点で反証のすべを持たない我々は見事にはしごをはずされた。

半年後に複数の第三者機関からの問題なしの調査結果 <http://www.sord.jp/> が報告されても後の祭り。その報告についての西日本区の見解提出を求めたが「もう済んだこと」なのだそうだ。でてこない。

意図したことではないけれど、私たちが支援の対象としたことが、いい加減な記事の内容を喧伝する結果になり、そ

の組織について少なくともワイズメンに誤った印象を与えたことは事実。最低限、その組織の名誉回復を図る努力をしてほしかった。この希有な組織を立ち上げた理事長は、もうその立場を離れられたとか…ああ。

メールのおかげで、事業報告などすべてがすべてに瞬時に届く今、求めないと何もせずに終わってしまう主査でした。すみません。ただ、ワイズデーはクラブ独自の取り組みでお願いしたことは一定のご理解を得られたような気がします。ありがとうございました。



EMC事業主査 牧野篤文

主題「まだ、現状に満足しますか？～起こそう！メンバー増強スパイラル～」

今期EMC主査という大役を引き受けさせていただき、京都部に一人でも多くのメンバーを増やそう！

そして京都部を600人体勢にしよう！と私なりに志を持ってスタートしましたが、私の力不足で結果が伴いませんでした。

部長をはじめキャビネット、役員の皆様、そして京都部のワイズメンの皆様にご心からお詫び申し上げます。

私にとりましては、本当に貴重な経験をさせていただきました。と、同時に強い危機感も感じました。

ワイズメンズクラブを含めて、世の中には奉仕クラブや

異業種の交流する団体は数多くあり、それぞれが、特色を出しメンバー増強に取り組んでいます。そんな中でワイズを選択されなければ、メンバー増強はできません。

では、選択されるためには、私が常々もうしあげている「メンバー満足度」をもっと高める必要があると思います。そしてドロップの原因も、「メンバー満足度」が密接に関係していると思います。

その事を本気で考えなければ、今後のワイズの発展は難しいと思います。私の任期は終了しますが、ワイズの一員としてこれからも、その事を本気で考えていきたいと思っています。一年間ありがとうございました。



ファンド事業主査 中村隆司

主題「制度改革、今こそ初心に戻り次世代への1歩を！」

京都部各クラブメンバーの皆様こんにちは。

日頃からファンド事業にご理解ご協力を賜り有難う御座います。

そして今期は久々にBF代表を輩出頂き、EF献金、BF献金、使用済み切手収集と色々な事業にもご協力頂き、また各クラブさんとも活発にクラブファンドをして頂き、部長公式訪問の時も色々とお気遣い頂き、一年間本当にお世話になり心から感謝申し上げます。

なかなか部のお役に立てないままアッと言う間に1年が過ぎてしまい、特に何と言って活動が出来なかったなと1年を振り返っております。

次期からは国際・交流事業委員会になりますので最後のファンド主査になりそうですが、主査をさせて頂き私自身

も色々勉強させて頂き、たくさんの知識を得る事が出来ました。

これからもこの得た知識をワイズ発展のために活かし、頑張っていきたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。1年間、本当に有難う御座いました。





交流事業主査 笹山直世 主題「国際交流を楽しもう！」

私にとって今期は非常に実の有る一年でした。と言いますのは自クラブ以外の交流活動に目を向ける機会を頂けたからです。

私は各クラブ其々に『濃密で活発な交流活動をされておられる』という印象を強く受け、中でも飛び抜けて内容の濃い交流活動をされておられるクラブさんも有るように思いました。又、部の仕事をさせて頂いた事で、色んなクラブの方々とお知り合いにならせて頂きました。

私自身、各クラブさんのサポートや交流活動の促進に微力で大した仕事も出来ませんでしたが、クラブ会長さんや各クラブの交流委員長様、畑本部長を初め京都部内の皆様にも支えて頂き、おかげ様で一年を乗り越える事が出来ました。兎にも角にも『有難うございました』の言葉しか出てきません。

そして、自クラブのメンバーには、私を選出して頂いた事に感謝の気持ちで一杯です。次はこの経験を自クラブで活かせるよう頑張りたいと思います。皆様、一年間お支え頂き本当に有難うございました。



広報事業主査 倉田正昭

主題「"Global Network beyond the border"国境を越えたグローバルネットワーク」 ～京都部から頂いた形のないギフト～

ワイズは役職が向こうからやって来ると言われますが、今期、お陰さまで、いろいろな方々との出会いがあり、

その中で貴重な経験と勉強をさせて頂きました。

この夏は、アジア大会もあり、ワイズメンズクラブは次第に活性化しており、頼もしく感じます。この機会にアジア大会で視野を広げてアジアのワイズメンとお友達になるのも良い機会です。私自身マーシャルを通し facebook を利用してアジア大会に参加されるワイズメンと知り合いの輪を広げたいと思っています。

この部報が発行されている頃には、すでにPR委員会が評議会でも常置委員会として承認され、新しく動きだしていることと思います。これは東西日本区初の第一歩になるかと思っています。今後、みなさんのクラブに役立つPR委員会になりますのでご期待ください。

ところで前回の京都部報2号で私は「クラブを越えた趣味の会があっても良いのでは」と書きましたが、偶然にも今期6人もの音楽好きな京都部の役員が集まり「ワイズ・バンド（仮称）」が結成されました。

ワイズは自ら楽しみを自分で見つけ出す場です。今回の部役員をさせて頂いたことで、素晴らしい音楽仲間を持つことができ、予想もしなかったギフトを頂きました。

最後に、毎月ブリテンやご報告を送ってくださった各クラブの担当の皆様、ありがとうございました。各クラブの会長さんはじめ、役員の皆様、一年間本当にお疲れさまでした。次期、私は京都部の書記・PR委員長を担当させていただきますので、よろしく、お願いいたします。



メネット事業主査 国松和子

終わってみると、メネット事業の事は何もわからないまま、メンバー・メネットの皆様にご助けて頂きながら、1年間夢中で走ってきた気がします。

クラブの枠を超えて 楽しく集うメネット交流を1番に想って開催した京都部合同メネット会。その準備では、各クラブ会長、メンバーやメネットの皆様

主題「LOVE & PEACE」

さんが、快く協力を引き受けて下さり、それが何よりとても嬉しかったです。

“ワイズの皆さんはどこのクラブの方も親切で優しいねっ”と帰って主人に伝えと、“それがワイズメンズクラブやで”と言ったことが、この1年通して私が改めて実感したワイズメンズクラブの素晴らしいところでした。

これもスポンサー（うちの場合ウイングの野崎さん！ありがとう）が主人をワイズメンズクラブに誘って頂いたか

ら感じれる事。スポンサーというのはそんな関係を繋げていく大切なきっかけであり、主人が初めてワイズに入った29年前を思い出しました。

出合いや別れ、色々な事があるけれど、素晴らしい人間関係の場面に会えると、主人がワイズに入ってくれて本当に良かった～と思います。

そんなワイズメンズクラブが大好きな主人（今回 メネット主査を引き受けてみたらワイズ大好きメンバーをうようよ発見でき、うちだけでなく安心しました！）と、ワイズメンズクラブのメネット応援団でいつまでもありたい続けたいと思っています。

最後になりましたが、畑本部長、キャビネットの皆様、主査の皆様、各クラブ会長、各クラブのメンバー＆メネットの皆様、トゥービーの皆様、そして くにやん（面と向かってなかなか言えないので公式の部報で失礼しますo(≧▽≦)o）

私の為にたくさんチカラを貸してくださり本当にありがとうございました。

この1年は貴重な経験であり、充実したメネット生活でした。こんな機会を与えて下さったワイズメンズクラブに感謝でいっぱいです。

Love & Peace（今期の私の主題。これからも Love & Peace。）



統轄連絡主事 加藤俊明

今期もいよいよ終わりです。各クラブ会長の皆様また京都部の役員の皆さまお疲れ様でした。統括連絡主事として今期の京都部の活動を振り返ってみますと、京都YMCA創立125周年記念事業や、記念募金、また

記念式典と各種事業において部並びに各クラブの皆様の力強い支援を感じた1年でした。

畑本部長及び中西YMCA サービス・ユース事業主査には125周年記念募金委員として公式訪問などの機会を通じ

て各クラブにアピールしていただきました。

また、各クラブでは記念事業の企画やサポートをしていただき125周年を盛り上げていただきました。そして記念式典においては、大会運営の黒子として当日の運営をお支えいただき、まさに会員が主体のYMCAとしての姿を示していただいたと思っております。

そのような働きを通して、京都部の持てる潜在能力の強さを改めて感じております。今期部長を始め部役員並びに各クラブの皆様に厚く御礼申し上げます。

各クラブ会長

今期を振り返る



京都ワイズメンズクラブ会長 多賀久貴

会長主題「レッツ・ビギン」～明日の為に今、始めよう～

第67代京都クラブ会長を仰せつかっております多賀久貴でございます。

今期の京都クラブでは、期初に計画いたしましたYサ・CS事業も無事終えることが出来ました。また例年の事業も引き続き活動して参りました。十勝クラブさんから購入するジャガイモ・かぼちゃ・アスパラファンドやリトセンでのワーク、独自の活動としては、祇園祭での夜店の出店、そして今期のワイズデーイベントとしても開催いたしました京野菜即売会の京野菜マルシェも継続して活動して参りました。

今期の京都クラブ重点課題として掲げておりました、新メンバー獲得も期初に計画致しました「仲間作り例会」を年に2回開催し、メンバーの皆様のお力添えにより、たくさ

んのゲスト様にご参加いただけました。その結果3名の方を新しいメンバーとしてお迎えすることが出来ました。本当にうれしく思っております。

一年間振り返り、今思いますと「あっ」という間の楽しい一年でした。その間、頼りない私を全力でサポートいただいたクラブの役員の皆様、本当にありがとうございました。

また、京都部役員の皆様、在京クラブの会長の皆様、御世話になりありがとうございました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

今後もメンバーの皆様と心をつなげて明日のYMCAの為に、京都クラブの為に全力で活動して参る所存でございます。どうか皆様の温かいお心でお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



福知山ワイズメンズクラブ会長 堀 京子

会長主題「明るく、楽しく、笑顔でワイズへ」楽しいところに人は集まる

2015年1月12日、第38回小中学生席上書初大会を福知山YMCAと共催。小中学生45名、一般7名の参加者は、雪化粧した新春の福知山盆地を見渡す会場（京都府立中丹勤労者福祉会館4階ホール）で、元気良く書初！作品展は1月17・18日、福知山市厚生会館小ホールで行い、約250名のご来場を得ました。

2月例会講師は福知山YMCAブッククラブメンバーでもある勝村優子さん。昨年7/26-30三和町での東日本大震災被災児童受入サマーキャンプでリーダーとしてご活躍。

3月例会講師は谷垣修身さん。昨年から委員長をお務めの福知山市立図書館協議会の活動について伺いました。

4月は5日、京都トップスワイズメンズクラブ20周年記念例会に浅尾善逸ワイズ、小林稔ワイズが出席。11日、舞鶴YMCA国際福祉専門学校開校式・入学式に浅尾ワイズと堀が参列。大勢の方々が心をこめて準備されてきたことが伝わる素晴らしい式でした。

5月3日、第50回福知山市子ども大会に協力。福知山市三段池公園総合体育館・周辺で「竹細工コーナー」と「えほんのひろば」を分担しました。

今期はチャーターメンバーの浅尾善逸ワイズによる「税の歴史」や「国際奉仕クラブとしてのワイズメンズクラブ」等をテーマにした卓話が楽しみでした。

また、5月例会に夫・堀一博（福知山成美高校教員）が初参加してくれたことは、私にとって大きな喜びでした。私は福知山クラブ入会後まもなく11年。入会以前（20年前）から福知山YMCAブッククラブの活動に福知山クラブからも支援を受け、その善意と奉仕を間近で見してきました。ワイズメンとしての生き方を引き継ぎ次代に伝えられたら、と願っています。次期に希望をもって3期目の会長職に臨みます！



京都パレスワイズメンズクラブ会長 平野雅幸

会長主題「あなたの笑顔が見たいから」

今期は、メンバーの結束を深めるため会長標語を「あなたの笑顔が見たいから」とし、クラブ運営に取り組みました。

結果、例会の出席率はさほど伸びませんでしたが、メンバーの協力により、個々の事業については濃厚なものになったと感じています。

例会においては例年と異なり2月第二例会を京都YMCA125周年記念式典を例会振替としYMCA理解に努めました。

個々の事業については

Yサ・ユース：サバエワーク、オータムフェスタ、紅葉コンサート、リトセンスステージ照明寄贈、ミニバス大会、夜桜フェスタ、チャリティーラン等への協力を行いました。

CS・環境：和敬学園生会社訪問、和敬学園地蔵盆、チャリティーボウリング、献血（グローバルクラブさんと共催）、和敬学園卒業生ヘリサイクル品贈呈等を行いました。

EMC：クラブ内アンケート（2回）、新人研鑽会、入会オリエンテーション（随時）、体験例会2015、等を行いました。入会者は6名でした。

交流：香港九龍クラブ訪問、マニラダウンタウンクラブ来訪、札幌クラブ訪問&来訪、台中エバグリーンクラブ40周年記念式典に参加し韓国仁川チェムルポクラブとともにトライアングルでの交流を行いました。

ファンド：名刺ファンド、証明写真ファンド、ポテト他ファンド、クラブブルゾンファンド、不要品回収ファンドを行いました。

広報：プリテンPDF版を毎月発行、季刊誌を年4回発行しました。

また、それ以外ではクラブ内アジア大会委員会を作りアジア大会に向けての打ち合わせを行い、また、メンバーほぼ全員のアジア大会登録を行いました。



京都ウエストワイズメンズクラブ会長 金澤典子

会長主題「Naturally」～原点を見つめ直し自分らしさを～

皆様、1年間本当にお世話になりました。三役・メンバーの皆様を支えて頂いて、なんとか努めることが出来ました。あと少し、最後まで頑張りたいと思っています。

2月から始めたアジア大会に向けてのダンス同好会は、他クラブからもメン・メネット様が参加下さり楽しく踊って頂いています。沢山参加頂いて、大会2日目の大晩餐会のダンスナイトを盛り上げたいと思っています。

3月には一泊例会とEMCを兼ねて多羅尾ゴルフクラブに行きました。ゲストさんも沢山参加頂き、有意義な2日間でした。

そして、3月末には今回で5回目となる、東日本大震災チャリティーダンスパーティーを開催致しました。

4月4日に支援先の徳義会さくら祭りが有りました。

12名参加し、焼きそばとわらび餅を調理お手伝い致しました。4月17～19日にIBC先の台北ダウンタウンの40周年記念式典に行ってきました。その時に十勝クラブとIBC締結をされる事になり、仲人役のウエストクラブも10名参加させて頂きました。初めての台湾でしたが、皆様の熱い歓迎とおもてなしに本当に感激致しました。26日には西山竹林バーベキューを開催し、地域の皆様や、ゲストさんと交流を計りました。29日には恒例の大阪西クラブ主催の木器窯スプリングフェスタが有りました。陶器を作った後、神戸牛やバーベキューを頂きます。

あとは、西日本区大会と引継例会を残すのみとなりました。いろんな事を経験・勉強させて頂いた1年間でした。本当に皆様に感謝致します。どうも有難うございました。



京都めいぷるワイズメンズクラブ会長 青木繁幸

会長主題「初心」31年目からのスタート

会長を務めていつも思う事、それは何と1年は早いかなという事です。今回もあっという間に終わりに近づいております。

今年に入って、新年例会を双子クラブであるキャピタルクラブと合同で行いました。やはり兄弟クラブです。大いに盛り上がり楽しい時を過ごしました。

2月はEMC例会で滋賀県近江今津の「丁子屋」に鴨鍋を食べに行きました。メン、メネット、コメット、ゲストを合わせて29名というここ数年無いくらいの大人数、メンバーの皆さんの楽しそうな様子を見られたのがよかったと思っています。また翌週はCSチャリティーボウリングに支援先の積慶園園児とスペシャルオリンピックスのアスリート8名を招待してボウリングを楽しみました。

3月は車椅子駅伝で選手のバス乗降の介助ボランティアを行いました。

4月は支援先である京都市民福祉センターのさくら祭りで、浪江焼きそばを焼いて参加協力いたしました。

4月24日～26日、IBC締結を結んでいる台湾台中長春クラブの30周年記念例会に参加してきました。また同時にトライアングルを結んでいる韓国仁川文鶴クラブと3国合同例会も開催いたしました。この3クラブの付合いはもう30年にも及びます。

5月に入り、毎年恒例のYMCAかもがわチャリティーランに参加、例年通りTシャツ販売を行い、その利益の一部をYMCAに寄付いたしました。

5月31日には支援先の積慶園のゴミゼロ運動に参加しました。園の周りを園児たちと一緒にゴミ拾いをするという活動です。終了後、園児達と一緒にBBQを楽しみました。

今期はEMCに重点を置き、5名の増強を目指しましたが残念ながら3名入会で終了となりました。ですがこれは次につながる増強であったと思います。





京都キャピタルワイズメンズクラブ会長 菅原 権一

会長主題「伝統から、未来を紡ぐ」

会長として活動させていただいたこの1年ふり返って、ああやっと一応大過なく終えることが出来たなあという安ど感と、無我夢中もがいてあるあつと言う間に過ぎてしまったなあという気持ちが交錯しています。

昨年6月末、会長就任スタートからいきなり3週連続で、リトリートセンター・サバエキャンプ場開設準備ワークに大汗をかきました。“奉仕活動の実践とは”を体で覚えさせていただきました。

そして11月秋には、京都YMCA創立125周年記念事業として、「舞鶴YMCA国際福祉専門学校開校記念・少年少女野球教室&親善試合」を、京都YMCA共催により、舞鶴球場で開催いたしました。舞鶴市民の皆様を含めて総勢350名の方に参加いただき、市民の皆様にも少しでもYMCAのことを知っていただけたのではないかと思います。

新年のめいぷるクラブさんとの合同新年例会で年明けを飾り、2月の京都YMCA創立125周年記念式典では、荘厳に行われた礼拝式のうちに、クリスチャニティが心に響き、

YMCAの歴史の重みをも感じさせていただきました。

3月には東京クラブさんとのDBC交流に27名が東京訪問し、4、5月にはトップスクラブさん20周年例会、エイブルクラブさんの25周年例会に参加させていただきました。

これらの交流を通して、各クラブさんのそれぞれ苦労された歴史を、また、ワイズメンとしての温かい心情、熱い思いをうかがい知ることが出来ました。これも、会長をさせていただいたからこそ経験できたのかなと思っています。

5月31日には、リトリートセンターメタセコイアフェスティバルを総参加者115名で開催し、聴覚障害、視覚障害、知的障害をおもちの方々と心のふれあいの一日を楽しくすごさせていただきました。

この1年、人と人とのふれあいの大切さ、人のやさしさ、ワイズメン同志としての喜びを学ばせていただきました。キャピタルクラブの皆様、京都部のワイズメンズクラブの皆様、にお支えいただいたからこそと感謝申し上げます。

これからは、私が学ばせていただいたことを、生かして、もっともっとYMCA・ワイズの輪を広げられるよう力を尽くしたいと思います。ありがとうございました。



京都プリンスワイズメンズクラブ会長 飯尾 豊

会長主題「明日に向かって一歩ふみだそう」

月日の経つのは早いもので次期会長の抱負の原稿を書いて、すぐに半年の経過報告、そして今期を振り返っての原稿を書いています。

お陰をもちまして皆様に支えていただき、「あっ」言う間の一年でした。最近、歳をとれば特に時間が経つのは早く人生の終わりに近づいて行くのを感じております。

さてこの一年を振り返って、まずは7月のキックオフはサバエキャンプ場のワークで始まり、8月の京都部部長公式訪問例会は緊張しまくり、同月の青い空と白い雲のキャンプでは二日間サバエ族に扮し子供達を楽しませました。

また9月はマイマイ夏のキャンプを支援、10月には待望の新入会員1名を迎え、我がクラブの廣井ワイズが次々京都部部長に立候補し承認をいただきました。

そして12月も新入会員1名を迎えることが出来、益々プリンスクラブの発展を確信いたしました。

1月には第一回マイマイフォーラム「聴覚障がい青少年の進路について学ぼう」が開催され初めて聴覚障がいの持つ特異性を理解し、解決に向けて支援活動を続けていくことを再確認いたしました。

2月は京都部CSボーリングが開催され今期は我がクラブがホストクラブとなり、皆様のご協力のお陰で、楽しく素晴らしいボーリング大会が出来ました事を、この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

今期サバエキャンプ場の年間利用を考えておりましたところ、まず手始めに5月「第一回飯盒のご飯を食べよう」を企画、メンバーのほか多数のゲストを迎え実施いたしました。晴天に恵まれ、また参加したいとお言葉をいただき、第二回の企画をしているところです。是非皆様の参加をお待ちしております。

今期会長主題に上げました「明日に向かって、一歩ふみだそう」の通り、新しいメンバーも増え、新しい企画も行い、一歩も二歩もふみだせたと思います。



京都センチュリーワイズメンズクラブ会長 山崎育男

会長主題「Everything is practice」すべては実行の中にある

1年を振り返りますと、当初今期の会長職は別のワイズの方に決まっておりましたが、昨年2月に急遽変更となり、翌月研修会に参加、自身2回目の会長職スタートとなりました。

準備期間中どんな行事をするべきか、会長主題は？など、活動方針・事業計画で悩んだ事を思い出します。

そしてキックオフ例会では会長引き継ぎ式、新入会員の入会式など緊張の連続でした。ただキックオフ例会を無事終えることで、気持ちがすーっと楽になった事を思い出します。

会長主題はクラブ全員が、人との交流・つながりを積極的に持ち、諦めずにメンバー増強に動こうという気持ちで考えました。

特に印象に残っていることは、9月DBC宮崎クラブさんの例会へ参加させて頂いたことです。宮崎にYMCA本部が無い中、メンバー減少で苦勞され、再度頑張ろうと周年記

念例会を開催され、多くの九州他クラブの方々から祝福を受けられていた光景を見て感動を受けました。

また、もう一度自身感銘を受けた事を思い出したいという事から、5月のチャリティランにクラブとして初めて屋台を出したいと提案し、メンバーの方々からの賛同を頂き、宮崎クラブ物産店として実施させて頂きました。

1年色々有りましたが、先月5月の最終例会（6月は西日本区大会例会振替）の開会挨拶でメンバーの皆さんから「会長最後の挨拶が無いよ、もう一期やるのか」との言葉で、初めて会長職での最終例会と気づかされるくらい、ベテランのメンバーの方々の盛大なご協力と応援で、あっという間の1年でした。来期は今期積み残したメンバー増員に向け頑張り、30周年記念例会には現在の倍のメンバーで、他クラブの皆様をお迎えしたいと思います。

最後にクラブのメンバー・メネットの皆さんに感謝です、また京都部役員の皆様、各クラブ会長の皆様、有難うございました。



京都ウイングワイズメンズクラブ会長 岸本伸也

会長主題「来るべき未来に向けて」

昨年7月会長に就任して以来1年を振り返り、我がウイングクラブ維持発展のためにまずはメンバー増強を旗印にEMC委員会と共にゲストを呼べるゴルフ交流会を企画実施いたしま

した。現状3名の入会があり引継例会では更に2名の入会式を行う予定です。したがって、今期は5名増強ノンドロップで43名のメンバーでゴール出来そうです。

今年度、中西Yサ主査を輩出して、いち早くYMCA125周年記念事業の一環としての「125万円募金」を臨時総会で決議・即実行することが出来ました。先日の加茂川チャリティーランでも9名のウイングランナーが募金をいたしました。次期はもっと多くのクォーターマラソンに参加者するらしいです。かき氷は誰が担当するのか、審判が足りない等の問題も考えられますので早めの対処をしたいと考えています。

Yサ、地域奉仕の事業も評価するとなると取捨選択など行うことの難しさを痛感いたしました。現状、地球温暖化で11月に行事集中ということになっています。IBC交流で金浦クラブとのキムチ漬け共同事業もこの月ですので毎週ワイズでした。次期の8月にはコメットホームステイが予定されていて2名のメンバーコメットを送ります。北見クラブとのDBCについては、北海道の北見クラブですのでこちらが出向くぐらいの意気込みがなければ継続は難しいとの感触も得ました。

ファンド委員会は、じゃがいも・カボチャ等の実施、広報委員会はブリテン1日発行厳守の継続、ドライバー委員会的確な例会運営、それからアジア大会の例会振替決議等々。

三役、委員長、メンバー全員の協力、本当に心より感謝いたします。



京都洛中ワイズメンズクラブ会長 室田博行

会長主題「ワイズ愛」人生を愛し、地球を愛する

京都洛中クラブ第27期も終わりに近づいてきました。

上半期は養護施設つばさ園の支援を中心とした地域奉仕事業、Y事業等順調に行いました。

下半期は例年ウエスト、みやびクラブと合同で行う新年例会の一部がウエストクラブの35周年記念例会となり、トップスクラブ20周年、エイブルクラブ25周年記念例会等にも参加し、各クラブの元気さを感じ、我が洛中クラブも一人でも多くメンバーを増やし、活気あるクラブにしたいと思いました。

今期は残念ながらメンバーの増強はできませんでした。が、入会させたい候補もあり、来期には入会をと考えております。

4月にはIBC締結25周年を迎える台北大橋クラブをメン、メネット8名で訪問し、台北大橋クラブの例会で共に25周年を祝い、IBCの絆を深めました。

4月25日のファミリー例会は貸し切りバスで開創1200年の高野山を訪れ、奥の院から金剛峯寺まで専用ガイドさんの案内で回り、精進料理も賞味して高野山の見聞を深める有意義な例会となりました。

第11回京都YMCAかもがわチャリティーランでは洛中

クラブの西村直前会長が実行委員長として頑張りと、素晴らしいチャリティーランとなりました。私の今期の課題として長年支援を続けている児童養護施設つばさ園の園児とのふれあいを例年よりもう一步踏み込んだものにしたいとの思いがありました。

今期は地域奉仕委員長の努力もあり、花火大会、サバエキャンプ場デーキャンプ、京都部チャリティーボウリング大会、関西潜水水連盟京都支部、洛陽総合高校と行っている嵐山クリーン作戦等につばさ園から例年を大幅に上回る園児の参加があり、目標を達成できました。メンバーの多大な協力により大変充実した一年となったことに感謝の気持ちで一杯です。



京都エイブルワイズメンズクラブ会長 砂地一廣

会長主題「さあ！新しいステージへ」心機一転

25周年の記念すべき今期は、京都YMCA創立125周年事業とともにスタートしエイブルクラブの25周年記念例会でゴールインの本当に慌ただしい1年でした。無事、何とか次期

上澤Y'sに引継ぎが出来、皆様に感謝申し上げます。

1月25日に京都YMCA125周年記念事業として小年少女サッカー大会をホストさせていただきました。これは京都南部の宇治地域で京都YMCAの青少年育成事業をアピールするために、また、新たな活動の広がりを目的に企画されました。

地元、横浜サッカースポーツ少年団の協力により、京都YMCAサッカークラスのチームも参加頂き、総当たり戦で盛大に開催されました。藤尾主事の提案でYMCAが大切にしているフェアプレー賞も設けられ熱戦がくりひろげられました。参加者は6チームと関係父兄の合計で180名の参加を頂きました。来期、大きくなった選手との再会が本当に楽しみです。

5月16日は25周年記念例会が160名を越える出席者で開催されました。1部はばんばひろふみさんの京都YMCA125周年記念募金の「チャリティーコンサート」でテーマは「フォークソングをもう一度」と題して全員、青春

次ページに続く ➡



時代に一時間タイムスリップをして楽しんで頂きました。興奮冷めやらぬなかなかと26万円を越える過分な募金をいただき、2部の式典のなかで亀井理事長様に無事お渡しすることが出来ました。

皆様には暖かい励ましのお言葉を頂き、会長の挨拶で今

後のクラブ活動では世代交代の重要性を再認識して全メンバーが心をつにして歩む決意を表明させて頂きました。30周年のエイブルクラブに是非ご期待下さい。1年間京都部で交流いただいた皆様本当にありがとうございました。



京都グローバルワイズメンズクラブ会長 橋本達士

会長主題「Peace begins with a smile.」

最後の野外行事であるチャリティーランも最高のお天気の中、無事終了する事が出来ました。今年の今頃は新旧の役員会や各委員会、台湾訪問や京都部の各種研修会など重なり、毎日が大忙しだった事を今とな

れば懐かしく思います。

夏季リトセンワークでの高所作業車、楽しかった鮎鶴鴨川リゾートでの納涼例会や大森キャンプ場での家族例会。声楽家青野浩美さんを招いての125人例会、いつも喜んでいただいている修光まつり例会や恒例のジャガイモ販売そしてお楽しみクリスマス例会と昨年いっぱいスケジュールに追われ、あっと言う間に過ぎてしまいました。

今年に入っても新年例会、YMCA125周年記念式典、過去最高の収益を上げたトスファンドや車いす駅伝そしてハヤシライスのミニバスケットボール大会とまだまだ行事は続きましたが少し余裕が出て来た様な気がします。

4月に入り桜の咲くころにはいよいよ終盤戦、夜桜フェスタにふれあい例会、チャリティーランと残された行事を噛みしめながらじっくりと味わう事が出来ました。そして4月には待望の入会式も執り行うことが出来ました。

今期は「Peace begins with a smile.」の主題のもと笑顔の絶えない楽しいクラブ運営を心掛けてまいりましたが、なかなか思う様には出来ず、至らぬ点が多く、反省点ばかり思い出しますが、皆様のお力添えを持って何とか無事任期を終えようとしております。

この一年を振り返ると他クラブの方々との交流も増え、より深くワイズにかかわる事が出来、充実した一年を過ごすことが出来ました。

今後は25周年、30周年と私たちのグローバルクラブが益々充実した楽しいクラブになるようお願いさせていただければと思っております。皆さん「一年間本当にありがとうございました」。



京都みやびワイズメンズクラブ会長 武本 聡

会長主題「因果応報」自分の信念に基づいて行動する

今期は3年ぶり2度目の会長を勤めさせて頂きました。

今期は会長主題に因果応報を掲げました。ボランティアとは無償の奉仕であるとは理解しておりますが「良い行いをすれば良い事が返って

くるという」想いを持っていればモチベーションに繋がると思ったからです。

そして、その主題を胸にさあ出発と歩み出した矢先、昨年のお盆前辺りから腰が痛くなりだし、秋にはあまりの激痛により身体が自由が効かなくなりました。その時は車椅子生活を覚悟し東京パラリンピックに出場することを目標としなんとか上手く生活できない事への焦りを押さえていました。しかしながら年末には夜も寝る事がままならないくらい痛く、これが一生続くと思ったら死んだほうがマシだと思って生活していた時期もありました。

ただ、ネット等で調べてみると、どうもこの痛みは多くの人が4週間程で眠れるくらいには回復するといった症状である事を知ったので、その間、痛みを耐えながら仕事を続ける事にしました。今までの報いを受ける、因果応報の望ん

でいない部分が叶った昨年でした。

よって、今期の前半はワイズメンズクラブの事をあまり考える事が出来ず、なんとか参加するという事でしか活動出来ませんでした。

会長がこのような感じでしたので、当然みやびクラブもどのように活動して良いのか考えられない状態となり、本当はメンバー増強に向けて一枚岩とならなければいけない時期にメンバーをまとめるどころか、自暴自棄となり悪態をつく事もしてしまいましたが、先輩メンバーの方々が支えて下さり、1年を越す事ができました。

今年に入ってから腰の容態は一気に良くなり、普通に生活し仕事も出来るようになり出しましたので、前半分を取り替えそうと頑張ろうとしました。しかしながら、また腰の痛みが再発したらどうしよう…と不安が拭いされず、結局、自分の生活と仕事の事だけしか考えられないまま今期の会長を終える事となりました。

今年一年、私を支えて下さったみやびクラブ全メンバーの方々に心からのお詫びを申し上げると共に何よりも感謝の気持ちを表したいと思います。ありがとうございました。

京都トップスワイズメンズクラブ会長 舞田智之

会長主題「新しい毎日」 Step by step 一歩ずつ



今期トップスクラブは21期を迎えて、20周年記念事業を行いました、皆様のご協力もあり盛大にとり行う事が出来ました。感謝致します。

今期は特に他クラブの皆さんのお力を沢山お借りしました。クラブを代表してお礼申し上げます。

その他にも、今期は多くの事業を行いました。長年交流を続けてきた東日本区の沼津クラブさんとのDBCの締結を結びました。

カラーの違う両クラブが交流を深めてお互いの良いところを取り入れていこうと、取り組んでおります。

また今期もEMCに力をいれました。入会5年未満のメン

バーで懇親会を行ったり、ゴルフコンペにメンバー候補を呼んで交流を深めたりと委員長工夫で今期新たに10名の新しいメンバーを迎える事が出来ました。

新たな出会いからまた違う取り組みができればと期待しております。

若いメンバーが多いクラブで、まだまだ未熟な所もあります、私自身も未熟ですが…

それでもベテランのメンバーの皆さんや他クラブの先輩方に支えられて、なんとか一年間頑張ることが出来ました。これからも、YMCAの皆様と共に色々な活動を通じて自身も成長していこうと思っておりますが、今期は皆様のおかげで気持ちよく一年間過ごすことが出来ました。

本当にありがとうございました。

京都トゥービーワイズメンズクラブ会長 水野充弘

会長主題「艶と色気」 Don't stop the Party



思えば一年前、天候不順な夏であった気がします。雨が多くて夏が短かったことが思い出されます。早々のファミリー例会が企画倒れになったことが今でも悔やまれます。

部会に始まり、西日本区大会で終わったなあという印象ですね。

部会は、ホストクラブ、西日本区大会は、ブラザークラブがホストクラブ、どちらも例会振替にして参加者を多く募りました。

会の会長として十分な仕事できたのかはよくわかりません。

ただこの一年間は、人生の中で良くも悪くも忘れられない一年であったことは間違いありません。

メンバーの皆さん、ありがとうございました。



京都東稜ワイズメンズクラブ会長 佐藤私子

会長主題「つなぐ」出かけよう、出会いとつながりの場所



思い返せば1年前の6月末…

私の胸中は何をどのようにして会長職をやっていけばいいのか不安でいっぱいでした。右も左も分からず、難解なワイズのアルファベット言葉が飛び交う評議会で一人で震えていたのがついこの前のように思い出されます。

と、言いたいところですが…

その時の私はなんと昨年に続き2期連続の会長のスタートだったのです。他のクラブの会長さんからは

「ベテランやん、いっぱい教えてや!」とか「よっぽど、会長やりたいんやね〜」とか「ひょっとしたら3期連続狙って

るの?」とか随分、温かい(?)お言葉を掛けていただいたものでした(笑)

クラブ内の事情があったとはいえ2期連続で会長をする事には正直ためらいはありました。ただ、1期目は東稜クラブの10周年記念式典があったためほとんどその準備に費やされてしまいました。お蔭様で周年行事は無事成功を収めることができたのですが何かやり残した感覚があったのも事実でした。

1年を通して自分の思いをメンバーに伝えられたのだろうか?みんなが笑顔でクラブ活動を楽しんでくれたのだろうか?もし、後一年、会長をやらせてもらったらまた今年とは違う自分を伝えられるかもしれない…。

まあ、少々後付もありますし若干いっこしていますが偽らざる思いでした。

「私が来年も会長やります！！」って手を挙げた時のメンバーの驚いた顔を今も忘れることができません。もちろん安堵の表情も…

微力でしたが自分なりに精一杯やったつもりです。次期は少しでも離れたところから2年間の経験と想いをみんなに伝えていければいいかなって考えています。

最後になりましたが部長様、役員、主査の方々、他クラブの会長の皆様本当にありがとうございました。色々ご迷惑をお掛けしましたが悪いところは、さらっと流していただけると嬉しいです。

そして最後に東稜のメンバーのみんな。頼りない会長でしたがみんなでサポートしてくれて本当にありがとうございました。また明日からも一緒にがんばりましょう！



京都ウェルワイズメンズクラブ会長 松田博一

会長主題「歩みを止めるな」諦めないカメと居眠りしないウサギ

今期もあとわずか。引継ぎ例会、西日本区大会、とまとめの行事を残すだけとなりました。メンバーの皆さんには、本当にいつも助けてもらいました。一年間有り難うございま

した。

また、親クラブであるプリンスクラブの皆様には今期も数多くの合同例会で大変お世話になりました。親クラブだからと申しまして、本来のプリンスクラブの活動も多々あったと存じます。私たちがその活動の足を引っ張ってしまっていたことを申し訳なく思っています。長い間、本当に有り難うございました。心より感謝申し上げます。

さて、クラブの活動面では、京都YMCAへのサポートという形で継続して取り組むことが出来ました。特に「ソラ

シドキャンプ」では『コバコバ』と色々な場面でお声がけいただき、喜んでおります。(喜んでんのんかい、と突っ込まれそうですが) また、クリスマスロビーコンサートのサポートも復活させることができましたので、今後も何とか継続して頂ければと思っております。

今後の課題としましては、なんといってもメンバーの増強でしょう。次期は必ず2桁になるようにしていきたいと思えます。次に、新しく始めているレモンファンドの定着

こちら、地域奉仕の取り組みとして発展させ、ウェルクラブの中核をなす取り組みに成長させていきたいと思えます。

次期、田栗会長、頑張ってください。



京都ZEROワイズメンズクラブ会長 河村栄二

会長主題「和の心を持って…」一人一人の意見を尊重し思いやりと愛情あふれるクラブ！！

今期も残すところあと少しとなりました。

振り返ってみればZEROクラブ第5期の会長として選んで頂き、私の中で初めは仕事よりもクラブ重視と意気込んで参りましたが、思いは空回りばかりで自分の小さ

さを身に染みて実感させられました。

今日まで無事に出来ましたのもメンバー一人一人の頑張り、そして何よりも京都部役員の皆様と各クラブ会長様のお力添えを頂けたからこそと心より感謝いたしております。本当に有り難うございました。これからも宜しくお願いいたします。

2015 年

7月 31 日～8月2日

フィリピン区・南東アジア区・
東日本区・西日本区・スリランカ
区・台湾区が一堂に会します！

**日本での開催は、
16年振り！
ぜひ、この機会に！！**

**基調
講演**

1日目の基調講演は
宇宙飛行士毛利衛氏
演題 宇宙からの贈りもの

**分科
会**

2日目の分科会は
**YMCA/ユース支援/エク
ステンション/CSとNDERF**
と盛りだくさん！

**京都
観光**

2日目のエクスカーションは
7つのコースから京都を
見て触れて感じて！

**大晩
餐会**

1日目は**京のおもてなし**
2日目はユースも一緒になって
ダンスナイト！！

詳しくは <http://aac2015.jp>

ワイズメンズクラブ
国際協会



第26回

アジア 地域大会



全て含んで
登録費
39,000 円





第2報

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

第20回

京都部部会

『いつも喜んでいなさい』

“Be joyful always”

2015年11月1日(日)

受付 15:00~
開会 16:00

登録費 ¥9,000/人

会場：京都



ホテルオークラ

ホスト：京都ワイズメンズクラブ